科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：科学技術を考える－人文学の視点から ILAS Seminar :Thinking Science and Technology - Perspective from Humanities			担当者所属職名・氏名	人文科学研究所 教授　　瀬戸口　明久		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	12 (8) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	人文科学研究所本館330号室 (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	監視 / 技術 / フーコー						

[授業の概要・目的]

　この授業では、ミシェル・フーコー『監獄の誕生――監視と処罰』（1975年）を読む。18世紀末のヨーロッパでは、それまでの残酷な刑罰から、監禁と監視による刑罰を行う法制度へと移行した。これは工場や学校のような、一人ひとりの人間が監視と規律化のもとに生きる社会の成立と結びついている。この授業では、このテキストを現代の科学技術社会を理解する手がかりとして読解していきたい。

　現代社会においては、いたるところで空間の監視が行き渡っている。最近ではCOVID-19パンデミックにおける感染症サーベイランスを思い起こせばよい。このような科学的知識にもとづく人間のデータ化と管理は、じつは「監獄の誕生」からはじまっているのである。

　本書の読解を通して、科学技術がつくる空間とは何か、技術とは何か、人間とは何かという問いを考えていきたい。このような人文学の問いは、社会にとっての科学技術の意味を考えるためにも有効なはずである。

[到達目標]

- 一冊のテキストを読み、著者の主張を理解する。
- 人文学的な文章を読み解いて、論理的に表現できるようになる。

[授業計画と内容]

第1回　ガイダンス
セミナーの概要、進め方について説明する。

第2回～第14回
『監獄の誕生』を1章ずつ読み進めていく。
参加者による内容紹介、内容の確認の議論という形式で進める。
目次は以下の通り。

第１部　身体刑
　第１章　受刑者の身体
　第２章　身体刑の華々しさ
第２部　処罰
　第１章　一般化される処罰
　第２章　刑罰のおだやかさ
第３部　規律・訓練
　第１章　従順な身体
　第２章　良き訓育の手段

ILASセミナー ：科学技術を考える－人文学の視点から(2)へ続く↓↓↓

　第３章　一望監視方式
第４部　監獄
　第１章　「完全で厳格な制度」
　第２章　違法行為と非行性
　第３章　監禁的なるもの

第15回フィードバック

おもなテキストのほか、関連する論文などを読むこともある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

- 出席と授業中の報告（60点）
- 課題レポート（40点）

[教科書]

ミシェル・フーコー 『監獄の誕生――監視と処罰』（2020）（初回に利用する部分を配布するので、事前に購入する必要はない。）

[授業外学修（予習・復習）等]

- 参加者はテキストを読んでくる。
- 発表者はレジュメを作成する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]